

CONTEXT:
DAVID HIT
JACK II ●

Item	Category	Status
Project A	IT	Completed
Project B	HR	In Progress
Project C	Finance	On Hold
Project D	Marketing	Planned
Project E	Operations	Completed
Project F	IT	In Progress
Project G	HR	On Hold
Project H	Finance	Planned
Project I	Marketing	Completed
Project J	Operations	In Progress



セキュリティ対策と
システム管理

ハウツーガイド

3.6

Axisデバイスの イベントの管理

AXIS Optimizer for Milestone XProtect®

AXIS[®]
COMMUNICATIONS

手順：

Axisデバイスのイベントの管理

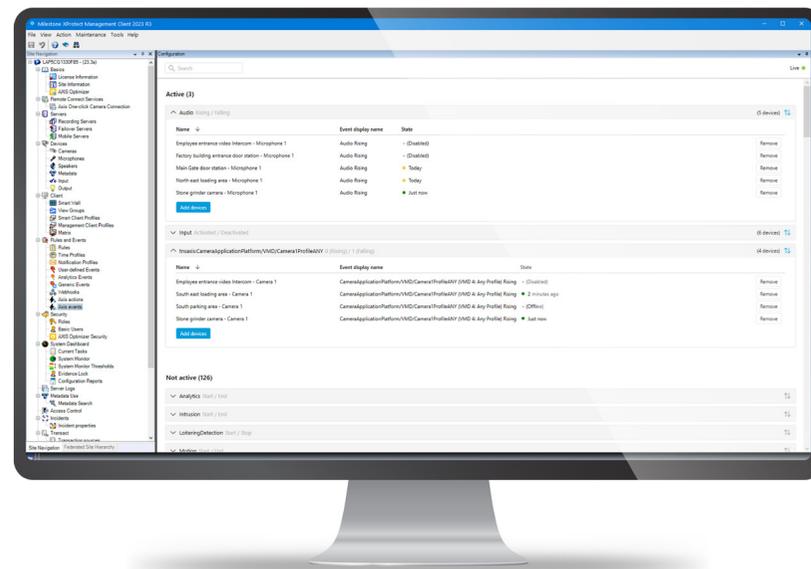
AXIS Optimizerには、Axisデバイスのイベント管理専用のコントロールパネルが含まれています。システム管理者は、XProtectで直接イベントのステータスの全概要の取得、管理、およびトラブルシューティングを行うことができます。このセントラルハブには、システム内のAxisデバイスに関連するすべての利用可能なイベントと登録されたイベントが表示されます。そのため、ユーザーは接続されているすべてのデバイスのイベント検索、デバイスからのイベントの追加または削除、複数のデバイスのイベントの一括設定、イベントのステータスの表示を、素早く行うことができます。

要件

- Milestone XProtect 2022 R2以降のいずれかを選択してインストールします。
 - Milestone XProtect Express+
 - Milestone XProtect Professional+
 - Milestone XProtect Expert
 - Milestone XProtect Corporate
 - Milestone XProtect Essential+
- Management Clientに最新バージョンのAXIS Optimizerをインストールします。

イベントに関する情報を探す

AXIS Optimizerイベントコントロールパネルには、イベントが最後にトリガーされた日時や現在の状態 (アクティブ/非アクティブ) など、Axisデバイスに関連付けられたイベントに関するすべての詳細が表示されます。



Management Clientでの保存期間の設定

デフォルトでは、XProtectの保存期間は無効 (0に設定) になっています。つまり、システム管理者がManagement Clientで保存期間の設定を変更しない限り、「最後にトリガーされたイベント」の列は常に空白になります。

1. **Tools > Options > Alarm and Events > Event retention** に移動します。
2. デバイスイベントグループ全体、またはグループ内の特定のイベントの保存期間を設定します。

イベントのステータスの確認とトラブルシューティング

1. Site Navigationで、**Rules and Events > Axis Events**に移動します。

ウィンドウが開き、登録されているすべてのイベントとデバイス情報のリストが表示されます。ここでは次の情報を確認できます。

- システム内アクティブ/非アクティブになっているイベント
- イベントが登録されているデバイス
- イベントの表示名、状態、最後にトリガーされた日時

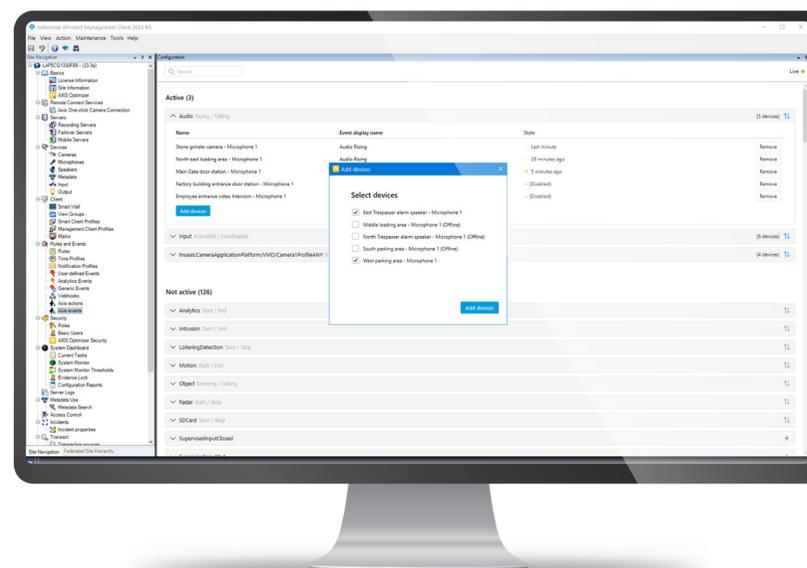
2. ステータス欄のインジケータは、次の状態を表します。

- a. 緑色 = イベントは現在アクティブになっています (i.e. 上昇または下降)
- b. 黄色 = 上昇イベントと下降イベントがありますが、デバイスはそのうちの1つにのみ追加されます。ユーザーはツールヒントで問題を確認できます。
- c. 無色 = イベントは現在トリガーされていません。最後にトリガーされた日時は、テキストで確認できます。
- d. “-” = イベントが無効になっているか、デバイスがオフラインになっています。

複数のデバイスのイベントを追加/削除する

1. Site Navigationで、**Rules and Events > Axis Events**に移動します。
2. **Configuration**に移動してイベントを選択します。
3. **Add devices**をクリックします。「デバイスの追加」ウィンドウに、イベントの追加が可能なデバイスのリストが表示されます。
4. 1台以上のデバイスを選択し、**Add devices**をクリックします。

デバイスからイベントを削除するには、ドロップダウンメニューで**Remove**ボタンをクリックします。



使用開始のサポート資料

AXIS Optimizerハウツービデオを視聴する

オンラインユーザーマニュアルを見る

その他のハウツーガイドをダウンロードする

AXIS Optimizer使用開始ガイドを読む

特定の作業に対するステップバイステップのワークフローは、変更される場合があります。最新の説明については、[オンラインユーザーマニュアル](#)を参照してください。

XProtectでAxisデバイスのイベントを効率的に管理する

XProtectでAxisデバイスのイベントを設定する作業は複雑で、人的ミスが発生しやすくなります。例えば、AXIS Optimizerを使用しない場合、ユーザーは関連するイベントを確認するために各デバイスに移動して手順を繰り返す必要があります。Axisデバイスで可能なイベントの総数が大幅に増加していることを考えると、イベントの概要を把握して管理することは困難です。

AXIS Optimizerがこの問題をどう解決するか

AXIS Optimizerイベントコントロールパネルを使用すると、管理者はシステム内のすべてのAxisデバイスのイベントを簡単に管理することができます。このコントロールパネルは利用可能なすべてのイベントの概要を提供し、管理者はXProtectで直接Axisデバイスイベントのステータスの取得、管理、トラブルシューティングを行えるようになります。また、すべてのイベントの検索、モニタリング、詳細の表示に加え、数回クリックするだけで複数のデバイスのイベントの追加/削除が可能です。これにより、新規および既存のデバイスのイベント管理の効率性と、Axisデバイスイベントに関する状況認識力が向上します。

AXIS Optimizer for Milestone XProtectについて

AXIS Optimizerは、Milestone XProtectにおけるAxisデバイスのパフォーマンスを最適化する統合のスイートです。すべてのユーザーがAxisとMilestoneのシステムを最大限に活用しながら、時間と労力を大幅に削減することができます。新しいAxis製品に対応できるよう継続的に更新されます。更新版は、axis.comからワンタイムインストーラーとして無料でご利用いただけます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティとビジネスパフォーマンスを向上させるソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連するソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に4,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。